

新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン

ご協賛趣意書

皆様には益々ご健勝のこととご拝察申し上げます。また、日頃から新宿区のスポーツ振興に格段のご理解、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて、毎年一月に実施しております「新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン」の第十七回大会を、今年度は平成三十一年一月二十七日に開催します。

本大会は、区内に立地する国立霞ヶ丘競技場を会場に「やすらぎとにぎわいのまち新宿」を区内外に発信しながら、誰でも気軽に集い走れる「市民マラソン」として成長を続けてまいりました。今年一月に実施した第十六回大会でも、全国三十八もの都道府県から、約一〇〇〇〇人のランナーが新宿のまちに集結し、区内を颯爽と駆け抜けました。大会ボランティアも、医療関係者・高校生など多岐にわたり、その数は一〇〇〇を超えるなど、区民をはじめとした多くの方々のサポートによる大変賑わいのあるイベントとなっております。

昨今のマラソン・ランニングブームにより、全国で多くの大会が行われています。その中において、本大会は現在、普段足を踏み入れることのできない「明治神宮野球場」を会場に、都心のトンネルをコースの一部とするなど、都会ならではの魅力に溢れた全国的にも注目度の高い大会の一つであり、東京マラソンの提携大会にも認定されています。

また、家族で楽しめる「ファミリー」、高齢者や未就学児も参加可能な「スペシャル」「ひよこ」など、バラエティに富んだ部門を複数設定し、さらには、知的障がい者の方対象のマラソン大会である「日本一D（アイディ）マラソン選手権大会」のハーフの部を当大会において同時開催するなど、共生社会の実現に向けて、広く開かれた大会づくりをも目指しています。

しかしまた一方で、大都市の中心を舞台とすることで、安全性を第一とし、かつ満足度の高い大会を成功させるために、運営上多くの対応が求められており、そのための経費の確保も、常に大きな課題となっております。

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控え、新宿の注目度は更に増してまいります。私ども実行委員会といたしましては、国立競技場の完成も視野に、さらに充実した大会へと前進を続けていくために尽力し、これまで以上に、区民・地域団体・企業の皆様の参画による新宿力の結集に取り組んでまいります。

つきましては、主旨にご賛同いただき、協賛による大会へのご支援を賜りたく、今回お願いをさせていただきます。皆様のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

平成三十年 七月

新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン

実行委員会 会長（新宿区長） 吉住 健一